

卒業生調査 結果

調査対象者

令和 5 年度の本学介護福祉学科の卒業生（第 27 期生）20 名

調査期間

令和 6 年 12 月から令和 7 年 1 月

調査票回収数・回収率

回収：10 名

回収率：50.0%

1. 回答者の属性

回答者 3 名のうち女性が 9 名（90%）、男性が 1 名（10%）。年齢は全員が 20 代であった。
回答者の居住地は、秋田県の中央地域 3 名（60%）、県南地域 1 名（20%）、県外 1 名（20%）であった。

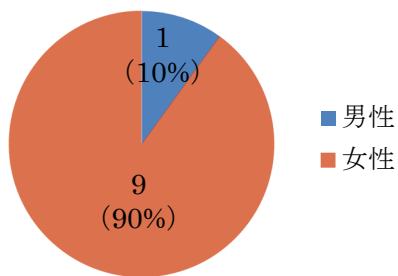


図 1. 性別（n=10）

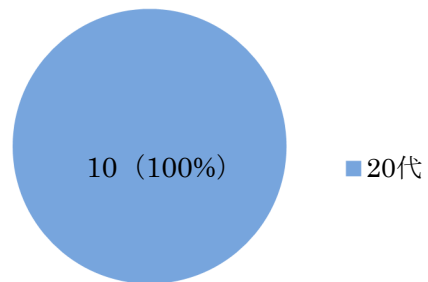


図 2. 年齢（n=10）

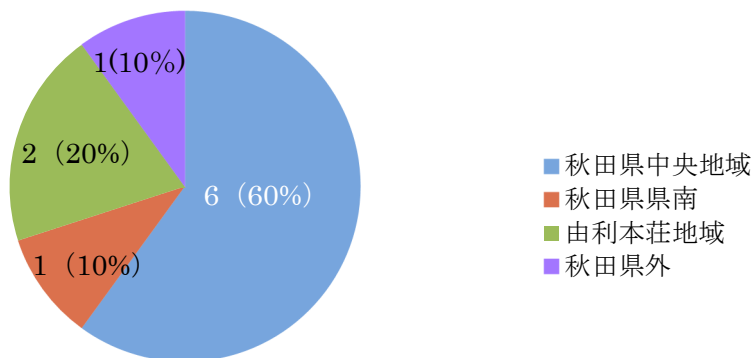


図 3. 居住地（n=10）

2. 卒業生の就業先・職種

回答者のうちの9名（90％）が就業者、大学生が1名（10％）であった。

就業者の職業種別は9名全員が「介護・福祉関係」であった。

従事している職種は9名全員が「ケアワーカー（介護職）」であった。

就業先の運営主体については8名の回答があった。内訳としては「社会福祉法人」5名（62.5％）が最も多く、「医療法人」「株式会社・有限会社」「一般社団法人」がそれぞれ1名（12.5％）ずつであった。

3. 在学中の教育・学生生活に対する満足度

在学中の教育や学生生活について、『教育内容』、『学生生活』、『施設・設備』の区分で満足度を尋ねた。

1) 『教育内容』に対する満足度

教育内容については、「カリキュラム編成(授業科目)」、「講義・演習の内容」、「ゼミ・研究活動」、「介護実習」の4項目について満足度を尋ね、更に教育内容全体に対しての総合的満足度を尋ねた。

「カリキュラム編成（授業科目）」、「学内での講義・演習の内容」、「介護実習」においては9名（90％）が「満足している」と回答していた。「卒業研究」においては回答にバラツキがあり、「満足している」6名（60％）、「やや満足している」3名（30％）、「どちらともいえない」1名（10％）であった。

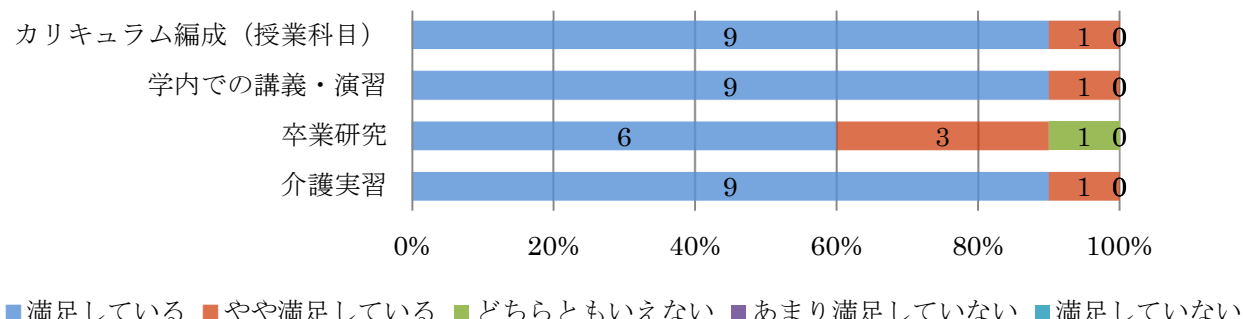


図4. 教育内容に対する満足度（n=10）

教育内容全体に対する総合的満足度は、全員が「満足している」という回答であった。

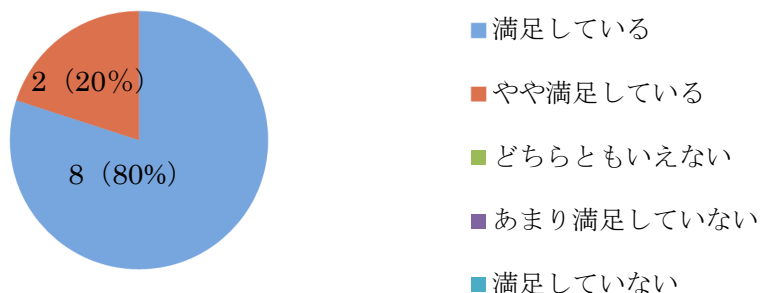


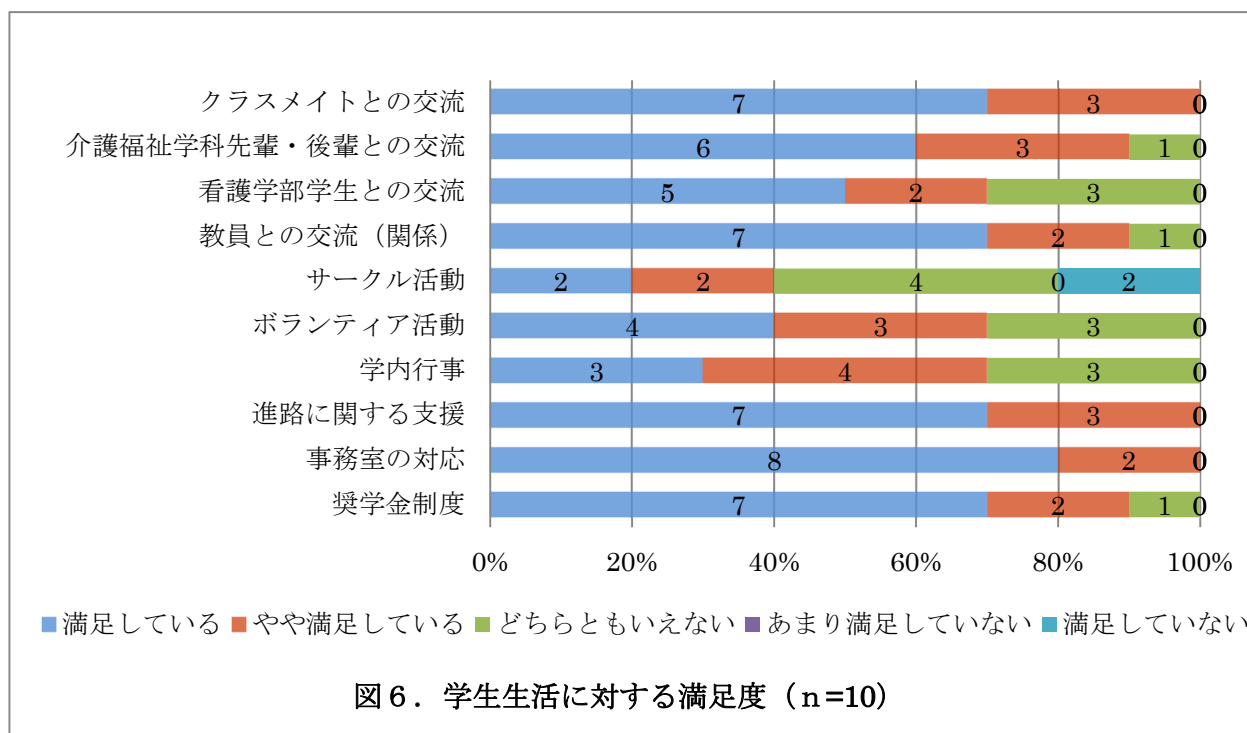
図5. 教育内容に対する総合的な満足度（n=10）

2) 『学生生活』に対する満足度

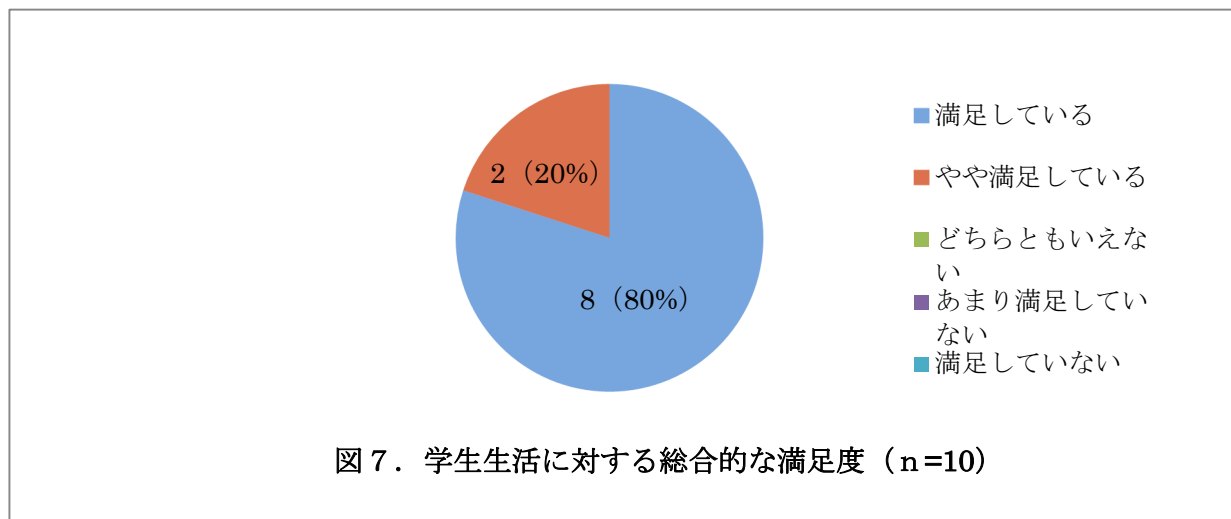
ここでは10項目に対する満足度を尋ねた。

「満足している」が最も高かった項目は「事務室の対応」8名（80％）であった。次いで「クラスメイトとの交流」「教員との交流（関係）」「進路に関する支援」「奨学金制度」が各7名（70％）であった。

満足度が低かった項目は「サークル活動」「学内行事」「ボランティア活動」「看護学部学生との交流」であった。



学生生活に対する総合的満足度は、「満足している」8名（80％）、「やや満足している」2名（20％）であった。

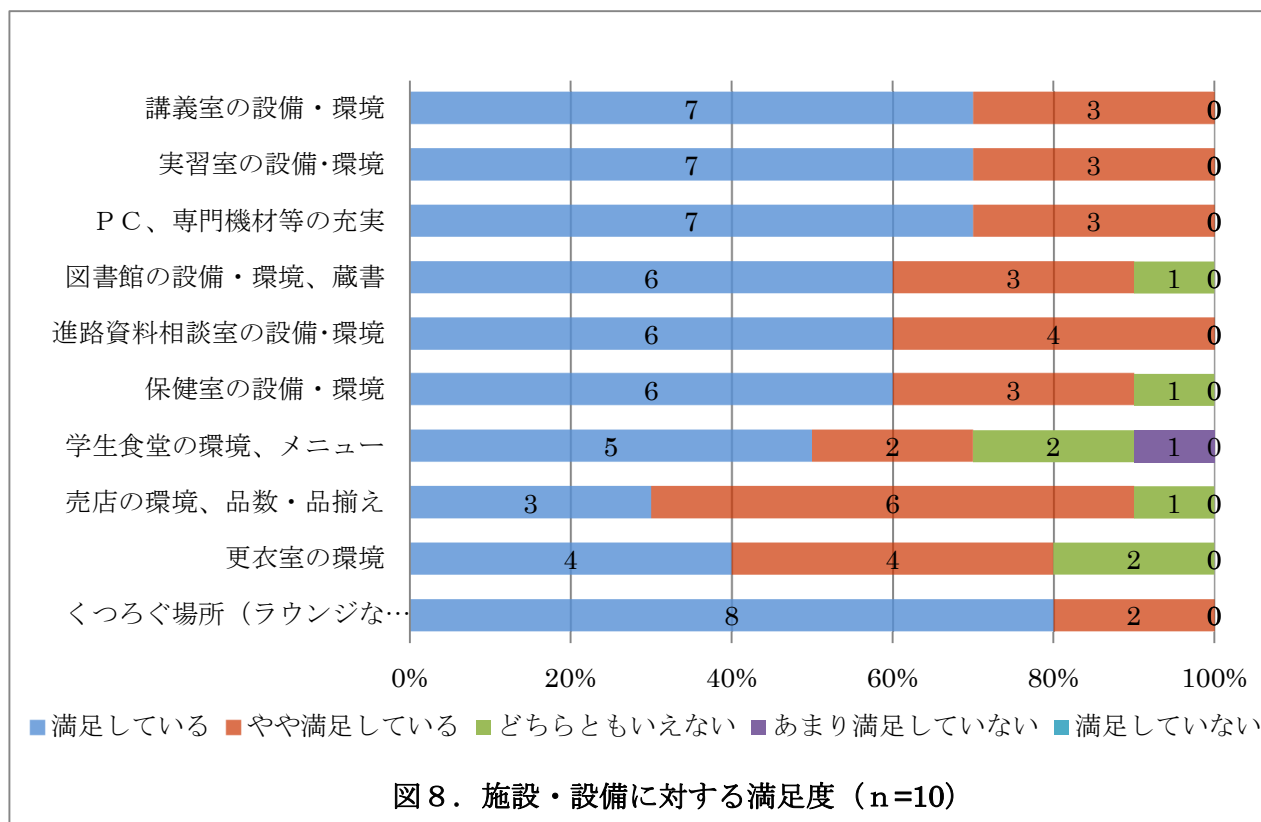


3) 『施設・設備』に対する満足度

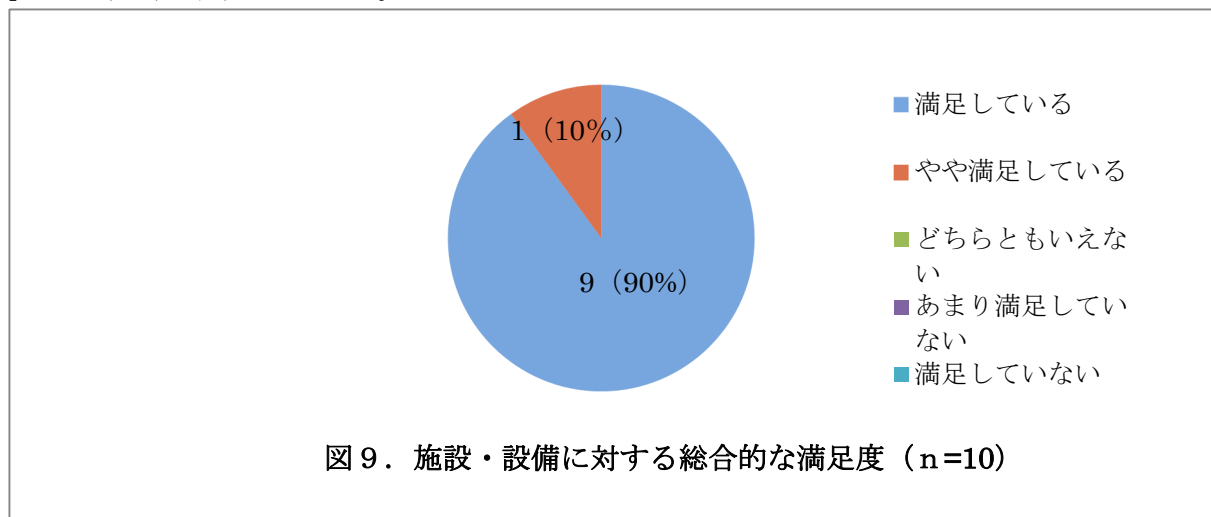
ここでは10項目に対する満足度を尋ねた。

「満足している」が最も多かった項目は「くつろぐ場所（ラウンジなど）」8名（80%）であった。次いで「講義室の設備・環境」「実習室の設備・環境」「P C、専門機材等の充実」7名（70%）であった。

一方で、「あまり満足していない」との回答があった項目は「学生食堂の環境、メニュー」1名（10%）であった。「満足していない」との回答はなかった。



施設・設備に対する総合的満足度は、「満足している」が9名（90%）、「やや満足している」が1名（10%）であった。

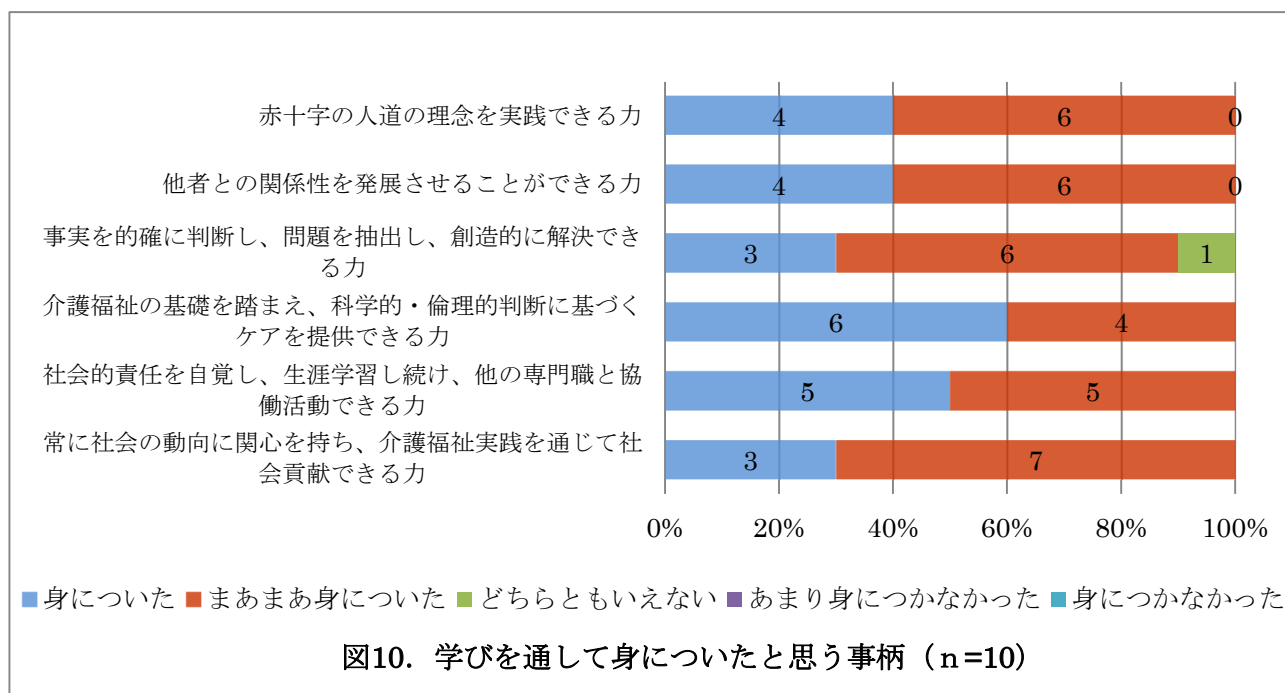


4. 本学での学びを通して身につけたこと

設定した6項目が本学の学びを通して身についたと思うか、について、「身についた」から「身につかなかった」までの5件法で回答を求めた。

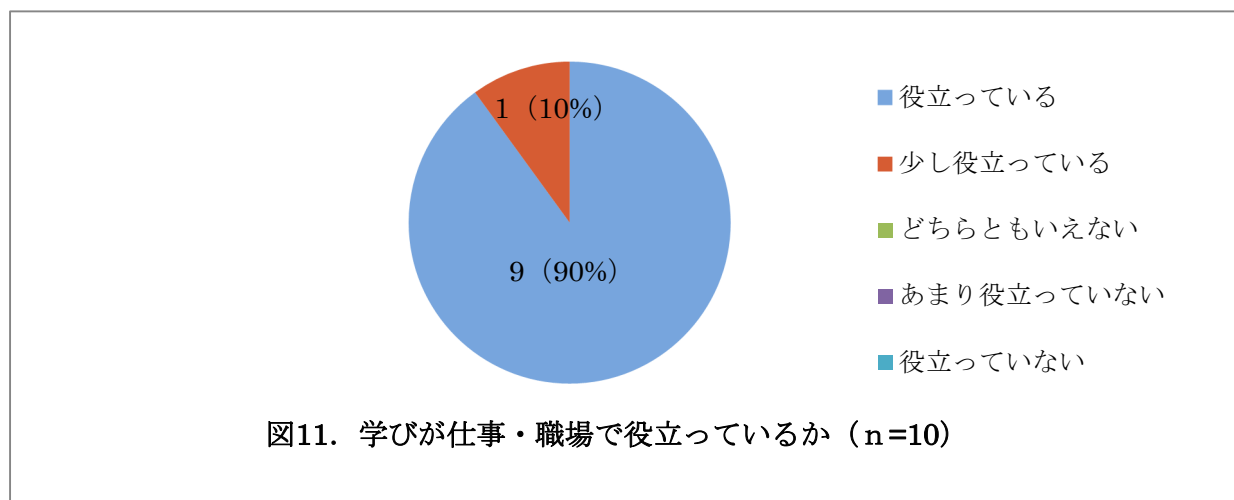
「身についた」という回答が最も多かった項目が「介護福祉の基礎を踏まえ、科学的・倫理的判断に基づくケアを提供できる力」6名（60％）であった。次いで「社会的責任を自覚し、生涯学習し続け、他の専門職と協働活動できる力」5名（50％）であった。

一方、「どちらともいえない」という回答があった項目が1項目あった。「事実を的確に判断し、問題を抽出し、創造的に解決できる力」において「どちらともいえない」1名（10％）であった。



5. 本学での学びが仕事（職場）で役立っているか

本学での学びが仕事・職場で役立っているかについては、「役立っている」が9名（90％）、「少し役立っている」1名（10％）であった。



6. 在学中にもっと勉強しておけばよかった事、身につけられればよかった事

在学中にもっと勉強をしておけば良かったと思う科目、身につけられれば良かったと思う知識や技術について、自由記述により回答を得た。

- ・勉強しておけば良かったと思う科目について 4 件の回答があった。

- ・こころとからだのしくみ
- ・介護の基本
- ・介護支援技術
- ・障害の分野

身につけられれば良かったと思う知識や技術については 5 件の回答があった。記載内容は次の通りである。

- ・社会の理解
- ・介護技術
- ・疾患の特徴、体位変換
- ・コミュニケーション
- ・移乗介助、排泄介助方

7. 授業・実習についての改善希望点

在学中に受けた授業や実習について改善してほしいと思ったことを、自由記述で回答を求めたところ 3 件の回答があった。記載内容は次の通りである。

- ・排泄介助の講義でテープ式オムツだけでなく中のパットもあるといいと思います。
- ・障害者支援施設の実習をもう少し多い時間行っても良いと思いました。
- ・特にありません。

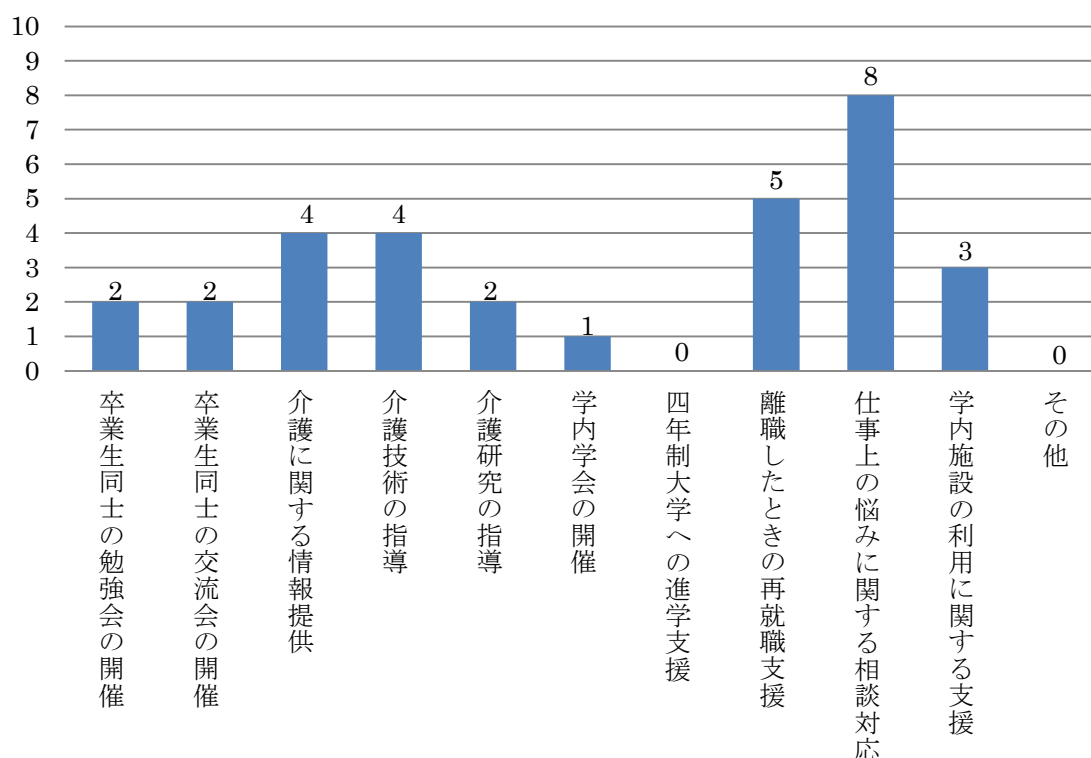
8. 本学への要望

1) 本学から支援をしてほしいと思う事

本学から支援をしてほしいと事柄について 11 項目について複数回答で回答を求めた。最も多かった項目は「仕事上の悩みに関する相談対応」8 名（80％）であった。

次いで「離職したときの再就職支援」5 名（50％）、「介護に関する情報提供」「介護技術の指導」各 4 名（40％）と続いた。

図12. 本学への要望（複数回答）



9. 本学への意見

本学への意見については 1 件の回答があった。

・2 年間ありがとうございました！介護福祉士として必要な知識や赤十字ならではの経験をさせて頂きとても有意義な時間を過ごすことができました！

以上